

修学旅行 (小5~中3)

9/17~19の2泊3日で修学旅行を実施しました。小5~中3の児童・生徒全10名のジャカルタへの旅です。

画像とともに3日間の行程を紹介します。

【9/17一日目】

- ① 11:23 Padalarang 駅発 WhooshG1024 で出発。
- ② 11:52 Halim 駅到着後、バスで「タマンミニ・インドネシア」に移動。
- ③ 公園内広場でお弁当昼食。天気に恵まれ心地良いアウトドアでの食事。
- ④ 公園内の歴史博物館で集合記念写真。続いて、館内をグループに分かれて散策。インドネシアの歴史に関する展示物を見学。インドネシア語(英語)の展示説明はタブレット活用で翻訳する。
- ⑤ 希望者は、館内のワークメニュー「仮面づくり」にチャレンジ。
- ⑥ 歴史博物館 1Fの大きなインドネシア絵地図前で、はいっポーズ。
- ⑦ 博物館見学に続いて、広い公園内をカートで移動しながら、インドネシア各地の住居等を散策する。その一つ「コモドラゴン・ミュージアム」の前でポーズの小学生グループ。
- ⑧ タマンミニからバスでホテル Best Western Senayan へ。会議室にて入所式。日本語とインドネシア語であいさつ。
- ⑨ ホテル内のビュッフェで楽しく夕食。

【9/18二日目】

- ⑩ みんなよく眠れたようで、元気な表情にてホテル内ビュッフェ朝食。
- ⑪ Jakarta Old Town (旧市街地 KOTA) に到着。石畳の広い敷地にオランダ風様式の趣のある建物が並ぶ。
- ⑫ みんな大好き「お土産屋さん」でのお買い物。
- ⑬ 日本国大使館に移動し、厳重警備を経て入館する。山田領事部長の概要説明に続いて、高林公使を表敬訪問する。
- ⑭ 大使館職員である久家さん(領事部)、清水さん(政務部)、青木さん(経済部)と懇談。子どもたちの質問にも丁寧に答えて下さり、より専門的なお立場の方の貴重なお話を直接聞かせていただくことができた。
- ⑮ モナス(独立記念塔)塔頂に行かなかったが、地下に展示されているジオラマを通してインドネシアの歴史を学ぶ。
- ⑯ イスティクラル大モスク 東南アジア最大規模で、20万人以上を収容する巨大モスクの見学。
- ⑰ モスクスタッフの英語によるガイドツアーに参加。モスク内部の美しい撮影スポットで記念となる一枚。
- ⑱ モスクと道を挟んで正面に建つカトリック大聖堂。二大宗教の象徴的建造物の共存に、インドネシアの国是「多様性の中の統一」の一面を実感することができる。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



19



[9/19 三日目]

①9 ホテルでの朝食後、シーワールド・インドネシア（アンチョール）に移動。

②0 到着後は、すぐにお目当てのペンギン館へ

20



②1 スタッフのお姉さんのアナウンスでペンギンショーのスタート

21



②2 スタッフと交渉の末、特別にスケジュール変更が可能となり、全児童・生徒がドキドキのペンギン餌やり体験に参加することができた。

22



②3②4 小学部と中学部に分かれて館内自由散策。弾ける姿に楽しさ爆発。

23



②5 ここでもみんな大好き「お土産屋さん」でのお買い物。

24



②6 アンチョール内のレストランで最後の食事（昼食）。

ココナッツジュースで修学旅行最後の「乾杯！」

②7 レストラン屋外デッキを散歩。潮風が気持ちいい。

②8 Whoosh G1041 号でバンドンへ。時速約 350km 体験に大はしゃぎ。

②9 16:30 Padalarang 駅着 お迎えの保護者の方が見守る中での解散式

子どもたちにとってインドネシアでの特別感のある修学旅行が一生の思い出になることを願っています。

★8/25 以降のジャカルタほかのデモの暴徒化等による治安面での状況が心配されましたが、大使館など多くの関係者の皆様のご協力により実施の判断ができました。また行程中も最新の情報を収集することができました。この場を借りてすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

25



26



27



28



29



遠足（小1～小4）

9/18 に遠足を実施しました。小1～4 の児童 12 名で、ルマ アンクルンと地質学博物館を訪問しました。

ルマ アンクルンでは、まず、ワヤンやガムランの演奏、現地の子どもたちが演奏するアンクルンや踊りなどを鑑賞しました。その後、アンクルンの作り方の説明を聞き、実際に自分のアンクルンをつくりました。最後には、そのアンクルンを使って現地の子どもたちと一緒に演奏をしたり、踊ったりしました。今年度は、音楽や現地校交流でもアンクルン演奏を予定しています。それに向けて、アンクルンをはじめ、インドネシアの文化に触れ、理解を深めることができました。

地質学博物館では、班ごとに分かれ、お気に入りの展示を見つけて写真を撮ったり、渡された写真を頼りに、展示物を協力して探すミッションに取り組んだりしました。どの子も、ガイドさんの説明も聞きつつ、展示物に見入っている様子で、次の場所への移動を促すのが大変なほどでした。本物に触れられ、実物を見られるとてもよい機会となりました。

地質学博物館にて →
ルマ アンクルンにて ↓

